

特別礼拝

酪農讃歌 CD リリース記念

日時 1月19日(木) 10時40分～12時10分

場所 黒澤記念講堂 (酪農学園大学・酪農学園大学短期大学部)

奨励 「雲の柱に導かれるままに」

賀川督明 (賀川記念館館長)

一昨年短大60周年、大学50周年の節目を迎え、その事業の一環として、本学の校友歌として、長く愛されている「酪農讃歌」のCDをリリースすることとなりました。

「酪農讃歌」は、社会運動家でもあり、宗教家でもあった賀川豊彦氏が、1952年に来学した際、当時の樋浦学長に懇願されて、作詞をし、ご子息の純基(すみもと)氏が作曲しました。

「健士健民」とキリスト教に基づく「三愛精神」を人間教育の柱にしている本学にふさわしい、素晴らしい讃歌を本学関係者に留まらず、広く一般の方々にもお聞き頂けるよう1月19日にCDをリリースする運びとなりました。

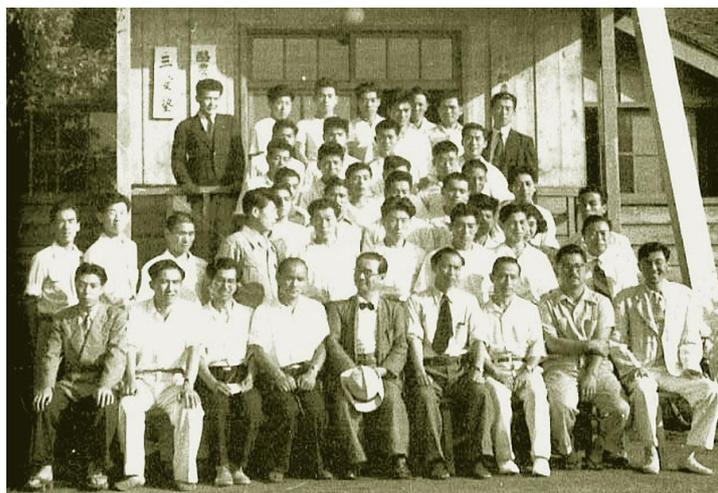
この度、酪農讃歌 CD リリースを記念し、賀川記念館館長賀川督明氏を迎え、特別礼拝を開催することとなりました。

学生、教職員、OB はもとより、地域一般の方も入場できますので、お気軽にお越し下さい。



賀川督明
かがわとくあき
賀川記念館館長
デザイナー
1953年東京生まれ。
青山学院大学神学
科中退。

大学時代、合唱団に熱中し演奏会のパンフレットなどデザインや印刷にのめり込む。大学中退後、デザインプロダクションを設立、現在に至る。印刷物一般から書籍・雑誌などの企画・編集・製作、及び、企業CSRの企画・運営・製作が主たる生業。2004年から自作した山梨の自然住宅に拠点を移し活動。賀川豊彦の活動開始100年を機に「賀川豊彦献身100年記念事業」に参画。2008年、神戸にも拠点を設ける。2010年神戸の賀川記念館館長に就任。社会福祉法人・学校法人イエス団理事。財団法人雲柱社評議員。兵庫県ユニセフ協会理事。カガワデザインワークショップ有限会社代表。



賀川豊彦氏を酪農学園に迎えて(1958年夏)

酪農讃歌

作詞：賀川豊彦
作曲：賀川純基

一、黒土よみどりなす草身につけて
地上をかざる日のもとに
牛追う若人はぐくめよ
窮乏の底に沈める国興せ
乳房持つ神我ともなり

二、同胞よ手に手をとりて村まもり
弱きを助け貧しきを
いたわるために勇みたて
窮乏の底に沈める国興せ
乳房持つ神我ともなり

三、み光に恵はつきすつまずく日
倒るる時も見捨てず
我を上げます 神の愛
窮乏の底に沈める国興せ
乳房持つ神我ともなり

問合せ先 酪農学園広報室 TEL 011-388-4148

CD販売取扱先 酪農学園生活協同組合 TEL 011-386-7281